

目標達成計画

作成日：平成 22年 12月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	平成22年2月に発生した夕方～夜間にかけての離設をうけて、早急な具体的な対策が必要と組織全体で判断し、1F正面玄関のホーム内からの開閉にタッチボタンを施行。施行前のような自由な出入りが多少制限されている現状がある。	外出傾向のある入居者様について、具体的な個別ケアを確立できる。	外出傾向にある入居者様について、センター方式を活用し、アセスメントを実施する。それをもとに外出支援についてのケアを個々に応じた具体的なものにする。	12ヶ月
2	10	食事会として、各フロアでの家族会を年3～4回開催しているが、家族様だけの話しを持てる時間は確立できておらず、家族様同士の交流の不足・職員への遠慮が発生していることが考えられる。	食事会開催後に家族様だけの会を設けることができる。	食事会のあと、茶話会と称して家族様だけの空間時間を提供し、職員は基本的に席を外し、様子を見ながら時折会話の中に入り、皆様の声・想いを吸い上げる。	12ヶ月
3	35	自治会なく、若年層の世帯がほとんどの地域であり、ホームに対する興味・協力を得ることが困難な状況である。そのため、防災訓練への参加も近隣住民の参加はなく、災害発生時の応援体制は十分確保できていない現状がある。	年2回の防災訓練時、近隣住民の方に参加していただける。	防災訓練前に近隣地域への参加を呼びかけるチラシを配布する。 高知市の防災対策課の方に依頼し、ホームにて高知市の防災対策(南海大地震)についての講習をひらき近隣住民の方にも出席を呼びかける。 (身近に起こりうるであろう地震対策に興味を持っていただき、自分たちの地域をどのように守る必要があるのかを一緒に考える機会として)	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。